

週 報



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために



「ロータリーの原点に戻る」

例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南
住所 日南市園田3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX 0987-22-9588

会長 豊田裕康

ロータリー親睦活動月間

第3289回例会	No.19	2021.06.01	雨
点鐘・国歌・ロータリーソング	12時30分	「国歌」「奉仕の理想」	
四つのテスト	落丸正博 君		
例会行事	結婚誕生者記念品贈呈・短縮例会		

会長時間

宮崎県の医療緊急警報が6月5日まで延長されたため、本日は弁当配布の短縮例会とさせていただきます。新型コロナウイルスの感染状況は、だいぶ減ってきたとはいえ、日南市内でもダラダラと新規感染者が出続ける状況で決して安心できる状態ではありません。

今年度も1月を切りましたので、来週以降は何とか通常例会を開催できればと考えております。今日は、休会期間中の結婚誕生お祝いが沢山ありますので、このへんで私の挨拶を終わります。

幹事報告

1) 6月のロータリーレートのお知らせが届いております。1ドル=127円

理事会報告

- 1) 田島逸男君・村社浩二君の出席義務規定の免除申請の件・・・承認
- 2) 6/15 創立記念日の件・・・夜に開催の方向で
- 3) 6/22 ガバナー補佐公式訪問の件・・・昼に開催

委員会報告

斉藤次年度幹事 2022～23年度委員会活動計画書提出依頼の件 6/10まで

例会行事

1月19日から5月18日まで例会が開催されなかったため、今日の出席者のみで、結婚・誕生者への記念品贈呈が行われました。

結婚 1月 甲斐信之君 2月 斉藤篤史君 3月 鬼束忠男君 小玉 淳君 河野通郎君
4月 竹井崇利君 5月 落丸正博君

誕生 2月 河野通郎君 井野畑善順君 3月 落丸正博君 4月 築瀬 敦君 豊田裕康君 竹井崇利君
野崎正彦君 5月 甲斐信之君 峰松俊夫君 6月 斉藤篤史君 齋藤奈々君 上原 修君

峰松俊夫君 新型コロナの状況報告



ロータリー例会が開催されるようになり、社会ではコロナウイルス感染者が減ってきたとの印象があります。実際はどうなのでしょう。

感染が拡大しているのか、収束に向かっているのかを判断するのに「実効再生産数」という指標があります。「実効再生産数」は感染対策を実施している状態で、現時点でひとりの感染者が何人に感染を広げているかを表したものです。「実効再生産数」が1以上であれば感染が拡大している状況、1未満なら感染が収束に向かっている

る状況です。宮崎県において5月20日以降は「実効再生産数」が1未満であり、6月1日時点で0.77と数値です。実効再生産数は新規感染者数報告日の10日ほど前の感染状況を表すとされ、このことを考慮すると宮崎県ではゴールデンウィークが終了してほどなくして感染が収束する方向に転じており、そこからはすでに3週間ほど経過しています。

しかし、人口当たりの感染者数は九州南部が全国でも最も多く、6月1日時点で沖縄県、鹿児島県に続き、宮崎県は3位となっています。今や東京、大阪、福岡に出かけるよりも宮崎県内の方が感染しやすい状態といえるかもしれません。

本当に安心できるような状況に向かっているのでしょうか。私が懸念していることのひとつに、医療施設や高齢者施設などを除き保健所が積極的疫学調査をしなくなったことがあります。第5波のデルタ株では人から人に感染するまでの期間が（これを世代時間といいます）約5日だったのですが、オミクロン株では2日と短縮しています。保健所の積極的疫学調査では、感染者が発症し、検査実施、医療機関が保健所に報告、それから保健所が調査を開始、調査結果を評価するまでに3日はかかるとされ、オミクロン株の世代時間の2日には間に合いません。すなわち、保健所が感染者の濃厚接触者を特定したとしても、特定する前に感染が広がっているということです。このようなことから保健所は医療施設や高齢者施設に関係するハイリスク者周辺の感染を重点的に調査する方針となり、保育・教育施設や一般企業における感染者には保健所が介入しなくなりました。しかし、これでは企業や教育関連施設ごとに感染接触者の判断基準が異なってきます。最近では濃厚接触者がいないと自己判断した施設から次々に感染者が出る状況になっています。保健所が関与しなくなったために、感染者の状況が把握しにくくなったと言えます。

では新型コロナウイルス関連の死亡者はどうなっているのでしょうか。日本では死亡診断書に死因を記載することになっており、確実な数値として出てきます。日本において最初の新型コロナウイルス感染症に死者が報告されてから死者数1万人に達するまで438日かかっています。死者数が1万人から2万人に達するまでは291日で、今年の2月11日に2万人達しました。そして、5月15日に死者数3万人に達しました。オミクロン株感染が主流になり、死者数2万人から3万人の1万人増加するまでに91日でした。

オミクロン株は弱毒だと言われています。たしかに最初の従来株では4%ほどだった致死率がオミクロン株では0.13~0.3%に下がりました。ただし、感染者数が増えて、それなりに死者数は多くなったということです。これらことから今しばらくは新型コロナウイルスへの感染対策に注意すべきだと思います。報道では「マスクを外して良い。」との政府関係者の発言が取り上げられていますが、『場面ごとでマスクが必要かを判断して、感染リスクが極小さい場合にはマスクを外せる。』というのが発言者の本意です。

これからもメリハリをつけた感染対策を行い、経済復興に向かいますように願いたいと思います。

(新規感染者数などのデータは6月1日宮崎県発表分で統計学的に判断しています。)

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率
今週	31	6	25	19	3	3	22	88.00%
出席免除	村上、清水、渡邊、守永、村社、田島							
先取MU	榎木田、日高、榎木田							
欠席	石崎、石灘、飯干							

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：豊田裕康 副会長：入中英雄 幹事：築瀬敦 雑誌会報広報委員長：河野通郎

雑誌会報広報委員会より

原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jp まで送信してください。